



2016 年度 功績賞

教育システム情報学会では、教育システム情報学に関する学術または関連事業に対して顕著な業績があり、学会の発展に多大な功績のあった会員・名誉会員・元会員に贈呈しております(原則として年度あたり 1 名以内)。本年度は 1 名の方に功績賞を授与致しました。

功績賞…伊藤紘二 様



伊藤紘二氏は、前身である CAI 学会時代の 1985 年から本学会の理事を務められ、2005 年から 2 年間は会長、その後 2015 年までは監事として、通算 30 年以上に渡り本学会の役員を歴任、本学会の発展に寄与されました。また、知識処理・自然言語処理技術を活用、学習者による問題解決において、教材を探訪、検索させる中で、汎化された問題解決能力としての知識獲得を支援する学習支援システムに関する研究に取り組み、教育システム情報に関連する学術分野の発展に貢献されました。

2016年度 論文賞

教育システム情報学会では、[学会誌 Vol. 31, No. 1 (2014 年) から, Vol. 32, No. 4 (2015 年) に掲載された 2 年間の原著論文, ショートノート, および, 英文論文誌 (The Journal of Information and Systems in Education) Vol. 13, No. 1 (2014 年), Vol. 14, No. 4 (2015 年) に掲載された 2 年間の Original Paper, Short Note] を対象に論文賞の選定審査を行い、最も優秀な論文に 2016 年度論文賞を授与致しました。

論文賞…後藤田 中 様*, 松浦 健二 様**, 田中 俊夫 様***

論文題目: 動きに基づき仮想の協走者を提供するウェアラブルシステム

掲載号等: 教育システム情報学会誌 実践論文 Vol.31, No.1, pp. 28-37 (2014)

* 国立スポーツ科学センター スポーツ科学研究部

** 徳島大学 情報化推進基盤センター

*** 徳島大学 大学開放実践センター

教育システム情報学会 第 41 回全国大会 終了報告

全国大会委員会 委員長 小松川浩(千歳科学技術大学)

平成 28 年の教育システム情報学会の全国大会を、8 月 29 日(月曜日)から 8 月 31 日(水曜日)の期間、「21 世紀型スキルを支える教育システムの展開」というテーマで、帝京大学（宇都宮キャンパス）で開催しました。

今回の大会では、プレカンファレンスに 5 テーマ、8 セッションからなる企画セッションに 57 件の発表、7 件の学生研究特別セッション発表、109 件の口頭発表、インタラクティブ発表 47 件の発表で、402 人の参加者に集まって頂きました。

大会初日には、会長の仲林清先生に「ビッグデータ・人工知能・メタ認知」というタイトルで基調講演を頂きました。革新的な情報技術を活用した人材育成におけるメタ認知の重要性を示唆頂きました。二日目には、「教育改革を支える基盤として教育システム情報学に何ができるか？」というタイトルで、池田満先生（北陸先端科学技術大学院大学）、須藤祥代先生（千代田区立九段中等教育学校）、田村恭久先生（上智大学）らを招いて、パネルディスカッションを行いました。高大接続改革における、高校や大学での事例や課題、そして新たな学力要素に対する教育手法と評価に関する研究課題について整理頂きました。最終日は、帝京大学共催の FDSO 公開シンポジウムを開催致しました。特別講演では、安西祐一郎先生（独立行政法人日本学術振興会理事長）から「教育改革の展望と ICT の活用」というタイトルでご講演を頂きました。ここでもメタ認知の重要性、学習プロセスを意識した教育手法の研究の重要性とそこでの ICT 活用への期待を講話頂き、日頃同じ思いを持つ本学会員に勇気と励みを頂きました。その後、野吾教行氏（学校法人河合塾）による基調講演や金田徹先生（関東学院大学）、飯田泰広先生（神奈川工科大学）、糸野文洋先生（日本工業大学）、望月雅光先生（創価大学）による事例の紹介を頂きました。実践的なアクティブ・ラーニングの取組紹介は、多くの関係者にとって有益な情報共有の場になりました。

今回は台風の影響を受け大会参加者への影響も危惧されましたが、参加者の熱意がそれを上回り、大変多くの方にご参加頂きました。開催に向けては、現地の大会実行委員会の皆様には大変お世話になりました。企業展示のスタンプラリーや情報交換会での地酒コーナーの設置など、本当にきめ細やかなおもてなしを頂きました。また、一年をかけて事前準備にあたって頂きました全国大会委員会各位には、昨年同様に各担当が上手に連携しながら、自主的な運営を行って頂きました。また企画委員会を初めとする各委員会のご支援により、プレカンファレンスや各種奨励も滞りなく進めることができました。対応頂きましたすべての皆様に心より御礼申し上げます。

来年の全国大会は、北九州国際会議場（実行委員長 九州工業大学 西野和典先生）で開催いたします。皆様方の教育システム情報学における研究成果がさらに進展し、九州の地で再びお会いできますことを楽しみにしております。

第 41 回全国大会奨励賞審査結果

大会奨励賞は、教育システム情報学および関連分野における学問の発展を奨励するため、その貢献が顕著である新進の研究者に贈呈するものです。受賞時に本学会の会員(入会申請中を含む)であって、40歳を越えていない、または、本学会入会時から10年を経過していない方が対象となります。また発表論文の第一著者であり発表時において登壇者であること、直近の過去2回の大会でこの賞を受賞していないことも条件となります。

大会奨励賞審査委員会により論文審査・発表審査を行い、本大会の審査対象論文76件から、以下の論文の各第一著者を大会奨励賞に選定いたしました。

(以下は講演番号、発表題目、著者(○は受賞者)、所属の順)

A3-2 動作解析を利用した自動車塗装修理の自習支援システム

○高井由佳(1)、池元茂(2)、濱田泰以(2)

【(1)大阪産業大学、(2)京都工芸繊維大学大学院】

B4-1 ビジュアルプログラミング環境 AT における Arduino 制御機能の開発

○國宗永佳、河野直、新村正明【信州大学】

G4-1 CSCL システムのための言語・非言語アウェアなプラットフォーム開発

○杉本葵、林佑樹、瀬田和久【大阪府立大学大学院】

H2-2 タブレットのタッチ操作を阻害しない指先装着型冷温覚提示デバイスの試作

○図所大輝(1)、高星賢二(1)、山口武彦(2)、原田哲也(2)

【(1)東京理科大学大学院、(2)東京理科大学】

以上4件

特集号論文募集

—安心・安全な社会に貢献する教育システム— —プログラミング・情報技術教育に関する実践・支援システム—

本特集号では、近年社会における需要が急速に高まっている2つのテーマ、「安心・安全な社会に貢献する教育システム」と、「プログラミング・情報技術教育に関する実践・支援システム」に関する論文を募集いたします。当該分野における新たな教育支援技術、ならびに当該分野の技術を応用した教育実践に関する研究開発の論文を幅広く募ります。一般論文・実践論文のみならず、ショートノート・実践速報としてのご投稿も歓迎いたしますので、奮ってご投稿ください。

1. 対象分野

A) 安心・安全な社会に貢献する教育システム

教育・学習は、安心・安全な社会を基盤としてより良く発展していきます。しかし、安心・安全な社会を維持するために我々が取り組むべき課題は多様かつ複雑化しています。このような状況において、大規模自然災害やテロリズムのみならず、事故や感染症など日常生活に潜むさまざまなリスクについて教育・学習することは重要であり、安心・安全な教育・学習環境を構築することも急務です。これらのことにICTが大きな役割を果たすことは言うまでもなく、安心・安全な社会に貢献する教育システムの充実が期待されています。そこで本特集号では、防災・減災、医療・看護・福祉、セキュリティ、情報モラル、情報リテラシ、情報・教育インフラなどの幅広いトピックを対象に、安心・安全な社会に貢献する教育システムに関する論文を広く募集いたします。

B) プログラミング・情報技術教育に関する実践・支援システム

従前よりICT技術者を目指す学生や、関連業種に就いた際の研修などにおいて、プログラミングおよび情報技術（ネットワーク、データベースなど）の教育が重視されてきました。一方、ICT技術は社会において遍在的な存在となっており専門的な技術者育成の場以外においても、これらの教育が広く実施されつつあります。特に近年においては、情報教育の一環として小・中学生、高校生に対してプログラミング教育の導入が順次進められているとともに、私塾においてプログラミング学習の場が設けられるようになっています。また、中等教育においては、プログラミングのみならず、情報科学・技術の基礎について学習することも求められています。以上の背景をふまえて、本特集号ではこのような状況の中、様々な学習者に対して必要とされるプログラミング・情報技術教育に関する実践や支援システムについての論文を広く募集いたします。

2. 論文種別

通常と同様、すべての種別（一般論文、実践論文、ショートノート、実践速報）の論文を募集します。なお、査読結果により、異なる種別での採録となる場合もあります。また、編集委員会の判断で、一般投稿論文として扱うことになる場合もあります。あらかじめご了承ください。

3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。Web 投稿の際には以下の点にご注意ください。

- 「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください。
- A), B)のうちどちらのテーマに関する論文であるかを、投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に明記してください。
- 特集論文研究会（2017 年 3 月 18 日（土）開催予定）で発表を行った方は、投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に、特集論文研究会での発表題目と発表番号を記載してください。
- 英文で投稿される場合は、本会英文誌へ投稿してください。英文誌においても同一特集名の特集号論文として取り扱い、和文誌と同様のスケジュールで査読を行います。

英文誌ホームページ：http://www.jsise.org/journal/journal_en.html

4. スケジュール

- 特集論文研究会：2017 年 3 月 18 日（土）
会場：北九州市立大学
発表申込締切：2017 年 1 月中旬／原稿提出締切：2017 年 2 月初旬
- 論文投稿締切：2017 年 6 月 5 日（月）
- 掲載予定巻号：2018 年 4 月 1 日発行予定の学会誌（Vol.35, No.2）
（採録通知送付予定：2017 年 11 月初旬頃）

5. 特集号編集委員会

委員長：小西達裕（静岡大学）

副委員長：瀬田和久（大阪府立大学），西野和典（九州工業大学）

幹事：田中孝治（北陸先端科学技術大学院大学），布施泉（北海道大学），笠井俊信（岡山大学），光原弘幸（徳島大学），國宗永佳（信州大学）

委員：学会誌編集委員，特集号編集委員

6. 問い合わせ

- 特集号全般に関する問い合わせ：
特集号編集委員会副委員長 瀬田和久（大阪府立大学）
E-mail: seta@mi.s.osakafu-u.ac.jp
- Web 投稿に関する問い合わせ：
教育システム情報学会編集事務局
電話：03-5389-6492，E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19 株式会社国際文献社 長澤

Call for Papers

The Journal of Information and Systems in Education, Vol.16

*It is published as Open Access Journal through J-STAGE.

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ejsise>

*All articles are available through leading search engines and academic information services, such as Google Scholar and CiNii.

https://www.jstage.jst.go.jp/pub/html/AY04S510_en.html

JSiSE (Japanese Society for Information and Systems in Education) has published *The Journal of Information and Systems in Education* since 2002. The editorial committee of the journal welcomes submissions of articles for Volume 16 of the journal.

Computers and network communications technology, which are the bases of information communication technology (ICT), have infiltrated various aspects of education, including styles of teaching and learning activities. Elementary, higher, enterprise, and lifelong educational institutions are incorporating various kinds of ICT equipment in synchronous and asynchronous learning. Many advanced companies have identified that “e-learning” frameworks are very important to their employees in order to acquire knowledge and skills depending their jobs. In these developing environments for e-learning, learning technology research and contribution are getting increased attention for effective and successful e-learning. Although research in this area has continued for over 50 years, it remains one of the most critical issues for learning activities today.

The Journal of Information and Systems in Education aims to spread outstanding research and practice results in the field of learning technology to professionals all over the world. To contribute the progress of learning technology research and practice, researchers and practitioners are encouraged to submit their advanced results in the topics below.

Scope:

The topic of papers includes but is not limited to:

- Learning technology systems: infrastructure, frameworks, architectures, etc.
- Methodology and pedagogy of e-learning: collective, instructional, collaborative, etc.
- Administration, maintenance, and evaluation of e-learning activities
- Core technology related to learning technology: database, artificial intelligence, etc.
- Sciences related to learning technology: cognitive science, educational psychology, etc.

Important Date:

Submission Deadline: 30 November, 2016

Instruction for Manuscripts:

Please refer to the “Authors Instruction” in the JSiSE Web site below in preparing manuscripts for submission.

<http://www.jsise.org/journal/pdf/AuthorsInstruction.pdf>

Paper Submission:

Authors must submit their papers through the web submission system at:

https://bunken.org/jsise/journal_e/applicant/login.html

Publication:

For papers submitted before the submission deadline, notification of acceptance or non-acceptance will be sent to the author by the end of June 2017.

Accepted papers will be appeared in Vol. 16 (2017) after proofreading and so on.

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ejsise/>

Contact Address:

JSiSE International Journal Editorial Office

E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp

教育システム情報学会英文誌論文募集 (Vol.16 冬期募集)

The Journal of Information and Systems in Education, Vol. 16

※J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ejsise>

※J-STAGE を通して，Google Scholar，CiNii を初めとする国内外の主要な検索エンジンや学術情報サービスと連携しており，掲載された研究成果は国際的にも認知可能となります。

https://www.jstage.jst.go.jp/pub/html/AY04S510_ja.html

教育システム情報学会では，2002 年から毎年定期的に英文誌：The Journal of Information and Systems in Education を発行しています。2011 年からは，J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルに移行し，国際的な発信力を強化しています。このたび，Vol.16 に掲載する論文を募集いたします。教育システム情報に関連した領域全般を対象としておりますので，是非，この機会に多くの方々にご投稿いただき，革新的な研究成果，ユニークな実践等を世界に向けて積極的に発信していただきたいと思います。下記の要領に沿って，ご投稿いただきますよう，お願いいたします。

○論文種別：

原著論文(Original Paper)，実践論文(Practical Paper)，

ショートノート(Short Note)，実践速報(Report on Practice)

○投稿締切：

2016 年 11 月 30 日

締切までに投稿いただいたものは，2017 年 6 月末までに採否を通知する予定です。採録された論文については校正等の手続きを経たうえで順次 Vol.16(2017)に掲載させていただく予定です。

○投稿要件

・論文は他学会において査読中でないこと，そして，その主要部分が未発表であること。ただし，国際会議，学会の大会，研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。

・投稿者は本会会員である必要はありませんが，本会会員である場合には掲載料に会員の価格が適用されます。投稿者が 2 名以上の連名の場合は，そのうち少なくとも 1 名が会員であれば，掲載料に会員価格が適用されます。

○原稿執筆要領：

英文論文誌もしくは下記の URL を参照してください。

<http://www.jsise.org/journal/pdf/AuthorsInstruction.pdf>

○投稿方法

※電子投稿システムを利用して投稿を行ってください。

- ・ 下記 URL より電子投稿用 **Web** ページにアクセスしてください。

https://bunken.org/jsise/journal_e/applicant/login.html

- ・ 初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行ってください。
- ・ 投稿論文は印刷イメージに近い書式で **PDF** ファイルとして作成し、アップロードしてください。

※査読・判定結果の言語の希望（英語または日本語）を電子投稿システムの「**Comments to the Editorial Office**」欄に記入してください。希望の記入がない場合、言語は英語になります。なお、希望にそえない場合がありますので、予めご了承ください。



研究会報告の電子化のお知らせと年間購読の申込みについて

研究会の研究報告が、2016 年度から電子化されることになりました！

研究報告は、現在 30 巻を数え、これまで教育システム情報学に関して毎年 150 件程度の研究成果(2013 年度 155 件、2014 年度 139 件の発表論文)を掲載し、大変多くの皆様にご購読いただいております。

印刷媒体での研究報告では、研究会当日の閲覧のために持ち運びが必要であったり、保管や管理等が煩雑であったかと思いますが、このたびの電子化によって、オンライン上で研究成果のタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となり、さらに保管などの手間もなく、益々便利に活用できるようになります。

つきましては、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得となっております。

- 年間購読：4,000 円（定例研究会年 6 回，特集研究会 1 回，計 7 回分を含む）
- 当日販売：1 冊 1,000 円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。

すでに年間購読をしていたいただいている方は手続き不要です。自動的に研究報告の電子化に移行させていただきます。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局（secretariat@jsise.org）まで年間購読申込をしてください。

=====

※研究報告年間購読希望
会員番号（お分かりであれば）：
お名前：
所属：
連絡先 e メールアドレス：
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。



2016 年度 研究会開催スケジュール

第3回研究会（担当：小西達裕，林 敏浩，安間文彦）
◆ テーマ：ICT を利活用した高等教育機関の教育連携／一般 ◆ 日 程：10月1日（土） ◆ 場 所：香川大学 幸町キャンパス ◆ URL：http://www.jsise.org/society/committee/2016/CFP_3rd.html
第4回研究会（担当：小尻智子，曾我真人，長谷川忍，柏原昭博）
◆ テーマ：身体知・経験知に関わる学習支援／一般 ◆ 日 程：12月10日（土） ◆ 場 所：近畿大学 東大阪キャンパス ◆ URL：http://www.jsise.org/society/committee/2016/CFP_4th.html
第5回研究会（担当：光原弘幸，佐々木整，三石 大）
◆ テーマ：新技術による教育・学習環境の構築と教授設計／一般 ◆ 日 程：1月7日（土） ◆ 場 所：愛媛大学 ◆ URL：http://www.jsise.org/society/committee/2016/CFP_5th.html
第6回研究会（担当：西野和典，鷹岡亮，浅羽修丈，西端律子）
◆ テーマ：ICT を活用したアクティブ・ラーニング／新教育課程／一般 ◆ 日 程：3月18日（土） ◆ 場 所：北九州市立大学 ※ 特集研究会と同時開催



2016 年度第 3 回研究会 プログラム

■テーマ：ICT を利活用した高等教育機関の教育連携／一般

※今回は「一般」のみのセッションとなります。

■開催日時：2016 年 10 月 1 日（土） 13:30-16:30

■会場：香川大学幸町キャンパス総合情報センター1 階 PC ルーム（香川県高松市）

幸町キャンパスへのアクセス：<http://www.kagawa-u.ac.jp/access/saiwai/>

※総合情報センターはキャンパス地図の 22 番です。

【お詫びと修正】ニューズレターNo.203 では、会場は同キャンパス研究交流棟研究者交流スペースと誤って記載されておりました。申し訳ございませんでした。上記の修正とともにお詫びいたします。

*以下の各予稿をダウンロードするためには、研究会当日に予稿集を購入し(1000 円)，渡されるパスワードが必要です。なお、年間購読(4,000 円)を申し込まれている方には、研究会開催日の約 1 週間前から会員専用マイページで研究会報告ファイルがダウンロード可能となる予定です。

*年間購読を申し込むと、年 6 回の定例研究会と 1 回の特集研究会の計 7 回分の研究報告を読むことができます。申込方法等は、こちら (<http://www.jsise.org/utility/information/20160222.html>) をご覧ください。

■タイムテーブル

発表時間は 25 分（発表 18 分，質疑 7 分）

[開会挨拶 13:30-13:35]

[セッション 1 13:35-14:50]

(1) 13:35-14:00

自転車ドライバのため交通安全教育アプリ“ポケットリス”-運用実験結果の分析-

○中川晋平，奥田浩斗，後藤田中，林敏浩(香川大学)

(2) 14:00-14:25

Gnuplot を用いた数学用 e-ラーニングシステム STACK の描画環境の改良

○深澤謙次(呉工業高等専門学校)，中村泰之(名古屋大学)

(3) 14:25-14:50

選択的フィードバックによる個人の運動学習支援

○石岡匠也, 後藤田中(香川大学), 松浦健二, カルンガル・ステファン(徳島大学), 八重樫理人, 林敏浩, 藤本 憲市, 村井礼(香川大学)

[休憩 14:50-15:10]

[セッション2 15:10-16:25]

(4) 15:10-15:35

多視点動画教材の視聴視点切替え提案による技能研修支援システム

○山本貴裕, 後藤田中, 石岡匠也(香川大学), 國枝貴之, 村田淳, 神代大輔((株)リコー), 小林雄志(立命館大学), 設楽佳世(国立スポーツ科学センター), 松浦健二(徳島大学), 八重樫理人, 林敏浩, 藤本憲市, 村井礼(香川大学)

(5) 15:35-16:00

経済政策シミュレーションにおけるアクティブ・ラーニングの実践

○大塚健太郎(早稲田大学)

(6) 16:00-16:25

RESAS を活用した授業

○松浦義昭(金沢大学)

[閉会挨拶 16:25-16:30]

■懇親会： 研究会終了後、懇親会を開催する予定です（17:30 開始予定）.
会費は 4～5000 円の予定です.

■お問い合わせ先： 香川大学総合情報センター 林敏浩
E-mail : hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp



2016 年度 JSiSE 学生研究発表会 発表者募集のお知らせ

教育システム情報学会 人材育成委員会

関係者各位,

平素は、教育システム情報学会の活動にご協力頂き、ありがとうございます。

さて、教育システム情報学会 人材育成委員会では、恒例の「学生研究発表会」を下記の通り企画しました。発表してみたいけれども学会はちょっと…という学生諸君、自分の研究に関して、広くアドバイスを求めたい、力試しをしてみたい、という院生諸君、指導教員として、年度のまとめとして発表させたい、とお考えの先生方、ふるって発表申し込みのほど、お願い申し上げます。

記

1) 開催地区・開催都市 開催場所・開催日 実行委員長情報

開催地区 開催都市	開催場所・開催日 実行委員長（連絡先）
北海道 千歳市	千歳科学技術大学 2017 年 3 月 4 日（土） 小松川浩（千歳科学技術大学） hiroshi@photon.chitose.ac.jp
北信越 長野市	信州大学教育学部 2017 年 3 月 4 日（土） 新村正明（信州大学）（仮） hse-submit@jsise.org
関東 未定	銚子（予定） 2017 年 2 月 28 日～3 月 1 日（合宿形式） 山本樹（尚美学園大学） t-yamamoto@b.shobi-u.ac.jp
東海 未定	未定 浦尾彰（鈴鹿工業高等専門学校） urao@info.suzuka-ct.ac.jp
関西 未定	関西学院大学大阪梅田キャンパス 2017 年 2 月 28 日（火） 未定
中国 広島市	広島工業大学五日市キャンパス 2017 年 2 月下旬～3 月上旬 松本慎平（広島工業大学） s.matsumoto.gk@cc.it-hiroshima.ac.jp
四国 高松市	香川大学幸町キャンパス 2017 年 3 月 3 日（金） 林敏浩（香川大学） hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp
九州 未定	未定 未定
沖縄 那覇市	琉球大学総合情報処理センター2F 第3実習室 2017 年 3 月 3 日（金） 谷口祐治（琉球大学） taniguchi@cc.u-ryukyu.ac.jp

※各種情報が未定箇所は今後のニューズレターなどでご連絡いたします。

2) 発表方法：

※研究発表（口頭発表） ※ポスター発表（会場によっては募集しておりません。）

3) 発表資格：

大学生（短大生，高専4・5年生・専攻科を含む），大学院生（修士課程，博士課程在籍者）．社会人学生も参加可能です．

※JSiSE 正会員である推薦人（指導教員または関係者）の推薦が必要です．

※留学生の方の発表（英語・日本語）の発表も歓迎します．

※発表場所（地区）は，自分の所属する大学等の場所と一致していなくても結構です．

※発表申し込み方法：以下の「JSiSE 学生研究発表会発表申込方法」参照のこと

以上

JSiSE 学生研究発表会 発表申込方法

◆発表申込について

電子メールにて，以下の7項目を記入した発表申込書（末尾記載）と発表要約を添付書類にして，2017年1月27日（金）までに希望する開催場所（地区）の連絡先メールアドレスに送ってください．送り先は，「開催地区・開催都市一覧」を参照のこと．所属大学の所在地にかかわらず，どの開催場所で発表しても構いませんが，JSiSE 正会員である推薦人（指導教員または関係者）とあらかじめ相談しておいてください．

項目：①氏名（ふりがな） ②学校名 ③学部・学年 ④JSiSE 正会員である推薦人の 所属・氏名・E-Mail アドレス ⑤発表希望場所 ⑥口頭発表希望 or ポスター発表希望（地区によっては無いところがあります．）⑦発表題目と発表要約（200字程度）

◆発表の採否について

発表の採用・不採用については，実行委員会で発表要約を審査後，2017年2月3日（金）までに結果を通知します．発表希望件数が多数の場合は，推薦人1名あたりの発表件数を制限させていただく場合があります．ご了承ください．

◆発表原稿と発表について

発表が採用された場合は，2月13日（月）までに発表原稿を提出いただきます．発表原稿は希望する開催場所（地区）の実行委員長のメールアドレスに e-mail に添付して送ってください．発表原稿は，

① フォント埋め込み済みの PDF に限ります．②原稿枚数はA4サイズで2ページ以内です．

③ 原稿にページ数を入れないで下さい．④発表申込書に記載した発表題目から変更する場合はその旨を必ず連絡ください．

発表原稿フォーマットは，JSiSE 全国大会発表フォーマット（注）に従うものとします．発表時間は，研究発表1件につき20分（発表15分，質疑応答5分）の予定です．優秀な発表は，学会長名にて表彰します．詳しくは，開催地区の実行委員長にご確認下さい．

（注）JSiSE 全国大会発表フォーマットは下記などからダウンロードして利用ください．

<http://www.jsise.org/taikai/2016/template/template.docx>

<http://www.jsise.org/taikai/2016/template/template.pdf>

また、発表原稿といっしょに著作権利用許諾書を提出ください。著作権利用許諾書の様式は以下からダウンロードしてください。

<http://www.jsise.org/utility/copyright.html>

2016 年度 JSiSE 学生研究発表会 発表申込書

代表者氏名（ふりがな）	
学校名	
学部・学年	
JSiSE 正会員である推薦人の所属・氏名・E-Mail アドレス	
発表希望場所	
口頭発表希望 or ポスター発表希望	
発表題目	
発表要約（200 字以内）	
注意： 発表原稿の題名，発表者名（共著者を含む），発表者の所属，発表原稿の内容は，学会本部の Web サイトに 1 年程度掲載（閲覧には簡単なパスワードが必要）します。	

関西支部より活動報告

反転授業ならびにビデオ教材作成に関する研究会開催報告

■日時 平成 28 年 8 月 27 日（土）13:30-18:00

■場所 近畿大学 東大阪キャンパス

■概要 本研究会では反転学習並びにビデオ教材作成の経験豊富な先生方をお呼びし、

- 反転授業に関する実践発表

- ビデオ教材作成に関するノウハウ発表

の 2 つのセッションにわけて発表を行いました。

【反転授業に関する実践発表セッション】

1. 反転授業×協働学習で変わる数学の学び・・・ 芝池宗克先生（近畿大付属高）
2. iPad で実現するオーガニックラーニング・・・ 江藤由布先生（近畿大付属高）
3. 受講者中心の教室運営のための ICT・・・ 木村隆良先生（近畿大）

【ビデオ教材作成に関するノウハウセッション】

4. ムービーメーカーで作るかんたん動画教材・・・ 岩井憲一先生（滋賀大）
5. Microsoft Office mix でラクラクビデオ教材作成・・・ 越智洋司先生（近畿大）
6. Microsoft Office mix を用いた実践活用アイデア・・・ 小川修史先生（兵庫教育大）

関西支部主催にも関わらず全国からの参加希望があり、当日の参加者は 64 名となりました。アクティブラーニングや反転授業に関する関心の高さを表していると思われます。

今後も関西支部では魅力ある企画を検討いたします。



（文責：越智洋司@近畿大学）



Twitter アカウント開設しました

8月下旬より、全国大会開催に合わせて学会の公式 Twitter アカウントを開設しました。本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております。本学会へのご質問・お問い合わせは、学会事務局分室（secretariat@jsise.org）へお願いします。また、Facebook アカウントとの連携も行っており、Facebook ページの投稿が Twitter にも流れますので、ぜひご活用（フォロー）ください。

<https://twitter.com/JsisePr>

◇ 2016 年 9 月 25 日現在、フォロワー数 123 アカウント



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会では Facebook ページを運用しています。本ページでは、

- ・ 論文・発表募集
- ・ 本学会に関連するイベントの情報

などを、いち早くお届けします。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

◇ 2016 年 9 月 25 日現在、いいね 265 件



他団体 協賛・後援のお知らせ

協賛 「モバイル学会：シンポジウム モバイル' 17」

日時：2017年3月9日（木）～10日（金）

会場：大阪大学人間科学部

http://www.mobilergo.com/siteapps/1022/htdocs/?page_id=896

協賛 「IEEE・SMC2018」

日時：2018年10月7日（日）～10日（水）

会場：シーガイア国際会議場（宮崎市）

<http://www.smc2018.org/>



会費納入のお願い

2016 年度年会費納入についてのお願いです。学会の活動は皆様の会費で支えられていますので、ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

- 「クレジット決済」、「コンビニ決済」をご希望の方は、下記のマイページよりお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託
をしております、株式会社国際文献社のものになります。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号： 00180-6-709632

加入者名： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名： ゆうちょ銀行（金融機関コード： 9900）

店名： ○一九 店（ゼロイチキョウ店） 預金種別： 当座 口座番号： 0709632

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱東京 UFJ 銀行（金融機関コード： 0005）

店名： 上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別： 普通 口座番号： 0142708

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行（金融機関コード： 0001）

店名： 茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別： 普通 口座番号： 1399483

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。

【2015 年度あるいはそれ以前の会費を支払われていない方】

マイページでは、すべての会費が合算された金額が請求されます。先に 2015 年度分のみのお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、定款の定めに従って除名手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（secretariat@jsise.org）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-5937-5816 Fax:03-3368-2822 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものになります。

■会員専用ページでは、以下のことが可能になります。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口（secretariat@jsise.org）までご連絡をお願い致します。

ログインには、名簿システム（2015 年 1 月にログイン）でご利用いただいた ID とパスワードが必要となります。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



学会誌・研究会報告のバックナンバーのお求めは

(株)毎日学術フォーラムまでお申し込みください。

株式会社 毎日学術フォーラム

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 2 階

TEL : 03-6267-4550 / FAX : 03-6267-4555

Mail : maf-sales@mycom.co.jp / URL : <http://maf.mycom.co.jp>

■JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局分室までご連絡ください。

この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。

■年間購読料 4,000 円 / 年 6 回発行 <送料込>

新入会員のご紹介

下記の皆様が新しくご入会されました。 2016 年 7 月 21 日～2016 年 9 月 20 日

氏名	会員種別
倉田 伸	正会員
劉 朝陽	学生会員（購読）
阪口 真也人	学生会員
北村 拓也	学生会員
図所 大輝	学生会員
川口 泰司	正会員（購読）

氏名	会員種別
山本 明依	学生会員
秋山 康智	正会員
下郡 啓夫	正会員（購読）
寺尾 康	正会員（購読）
金子 豊久	正会員（購読）

入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などをメールにてご案内いたします。教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

URL: <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、
入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。